

市からの情報

中央公民館主事の募集

まちづくり市民センター（中央公民館） ☎ 83-1551

非常勤職員中央公民館職員

（主事）を募集します。

【募集人員】 1人

【任期】 5月1日～平成30年3月31日（再任あり）

【勤務日時】 週3.5日、8時30分～17時15分

【勤務場所】 まちづくり市民センター（中央公民館）

【勤務内容】 窓口業務、施設管理、公民館事業の運営など

【報酬】 月額125000円

☎ 4月14日（金）までに履歴書を直接窓口へ提出してください。後日、改めて面接を行います。

※月曜日を除く。

住民票などのコンビニ交付対象店舗が追加されました

☎ 総合窓口課

コンビニエンスストアで住民票などの証明書が取得できるサービスについて、新たにミニストップでも利用できるようになりました。ぜひ、ご利用ください。

さい。

【利用日時】 6時30分～23時

※12月29日～1月3日を除く。

【利用可能店舗】 ミニストップ（新規）、サークルKサンクス、セイコーマート、セブンイレブン、ファミリーマート、ローソン

※利用にあたっては、マイナンバーカードが必要です。詳しくはお問い合わせください。

固定資産評価額が縦覧できます

☎ 税務課

☎ 4月3日（月）～5月31日

（水）9時～12時、13時～17時

※土・日曜日、祝日を除く。

☎ 税務課

【対象】 市内に土地または家屋を所有し、固定資産税を納税している方

【持ち物】 運転免許証などの本人確認ができるもの。なお、代理人が縦覧する場合は委任状。

【内容】 土地（所在地、地目、地積、評価額）、家屋（所在地、家屋番号（登記されている場合）、種類、構造、床面積、評価額）

●本人が所有する土地や家屋の内容は、固定資産税納税通知書に記載して、5月10日（水）に発送する予定です。

はな 汚泥再生肥料「葉菜」を無料配布します

☎ 廃棄物対策課

「鹿嶋市立衛生センター 汚泥再生処理施設」で製造した再生肥料を無料で配布しています。庭木や花壇、家庭菜園などにご活用ください。



☎ 8:30～16:00 ※土・日曜日、祝日を除く。

☎ 鹿嶋市立衛生センター 汚泥再生処理施設
（鹿嶋市平井2264番地）

☎ 無料

【配布肥料】

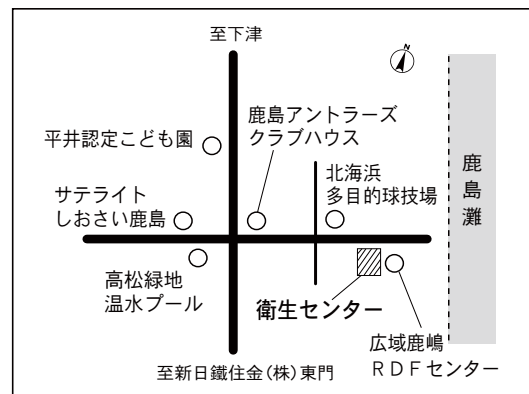
農林水産大臣登録肥料（登録番号 正第87010号）18Kg

【主な成分の含有量】

窒素全量	4.4%
りん酸全量	3.0%
加里全量	0.27%
銅全量	1 kgあたり400mg
亜鉛全量	1 kgあたり1,200mg
石灰全量	0.68%
炭素窒素費	7

【注意事項】

- ・成分などを必ず確認の上、使用してください。
- ・他人への譲渡や転売などはご遠慮ください。



広告

広告

脳健康教室 参加者募集



☎ 介護長寿課

認知症予防には、意識して脳を刺激したり、脳の活性化を図ることがとても大切です。このため、継続的に学習することで脳の健康を維持する習慣を身に着ける教室を開催します。教室では、読み書きや計算などの教材を使用した学習のほか、参加者同士の交流も楽しめます。

この機会に認知症予防に取り組み、認知症になるリスクを減らしましょう。皆さんの参加をお待ちしています。

☎ 5月11日～9月28日の毎週木曜日 9:30～11:30 (全19回) ※祝日を除く。

☎ 大野ふれあいセンター

- 2クラスに分かれて行います。
- 参加者2人につき、1人の学習サポーターが支援します。
- 学習時間は30分程度で、参加者同士の交流の時間も設けています。

〔対象〕 市内在住の65歳以上の方で、約5カ月間週1回教室に通い、それ以外の日には自宅で毎日10分程度の自習ができる方

〔募集人員〕 15人(先着)

費 3,000円(教材費、雑費)

☎ 4月21日(金)までに介護長寿課へ電話または直接お申し込みください。ただし、定員になり次第締め切ります。

母子相談室開放のお知らせ

☎ 保健センター ☎ 82-6218

こんなお悩みありませんか

- 自宅で赤ちゃんだけで過ごしているので、たまには気分転換がしたい。
- 母子で外出したいが、たくさんの方が集まる場所や、にぎやかなところは行きづらい。
- 子育て支援センターやつどいの広場などに行くには、まだ子どもが小さい。



保健センター内の「母子相談室」を開放しますので、ぜひ遊びに来てみませんか。

☎ 4月7日(金)、5月12日(金)、6月9日(金) 9:30～11:30

☎ 保健センター母子相談室

〔対象〕 0歳児

〔その他〕

- ・ 利用の際には、お子さんの外出時に必要な物を一式お持ちください。
- ・ 特に決められたプログラムなどはありません。開放時間内は、それぞれのペースで自由にお過ごしください。
- ・ 赤ちゃんの体重測定が行えます。

今日から実践！食品ロス削減

☎ 廃棄物対策課

食品ロスとは、食べられるのに廃棄される食品のことで、日本では、年間642万トンと試算されています。これは、日本の食用魚介類の年間消費量(622万トン)に匹敵します。

改めて、一人ひとりが「もったいない」を意識して行動してみませんか。食品ロス削減のために、できることから始めましょう。

あなたができる食品ロス削減

- 買い物は、必要な時に必要な量だけ購入しましょう。
- 料理は、食べられる量だけを作り、余ったら別の料理に活用するなど食べ切る工夫をしましょう。
- 家庭や宴会などで出された料理は、残さず食べましょう。

